ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)	区分・【新主題】/（分野）	授業形式
EU41B501	特別支援教育総合演習Ⅱ (Synthetic Seminar in Special Needs Education Ⅱ)	実践演習科目	対面

必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態
選択必修	2	1	教育学研究科	後期	水1	日本語		複数(共同)

担当教員	氏名　佐藤晋治，髙橋徹弥 E-mail　ssato@oita-u.ac.jp　内線　佐藤：7531
授業の概要	個々の特性を客観的に把握するためのアセスメント、保護者との関係づくり、専門機関との連携の実際について事例研究を行い、個に応じた教育を実現するために必要な児童生徒自身とその子を取り巻く環境の理解の仕方について学びを深める。また、障害のある児童生徒に対する指導・支援の教育効果を高める諸要因を具体的な事例に適用する力を養う。

具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1	障害のある児童生徒とその子どもを取り巻く環境との関係が理解できる	○	○	○				
目標2	障害のある児童生徒に対する指導・支援の教育効果を高める諸要因を効果的に適用できる	○	○	○				
目標3								
目標4								
目標5								
目標6								
目標7								
目標8								
目標9								
目標10								
	各DPへの関連度（計10）	2	2	6				

授業の内容	
1	教育相談における知的障害のある子どもの事例へのアセスメント
2	教育相談におけるＬＤのある子どもの事例へのアセスメント
3	教育相談における自閉症のある子どもの事例へのアセスメント
4	生徒指導における知的障害のある子どもの事例へのアセスメント
5	生徒指導における自閉症のある子どもの事例へのアセスメント
6	教育相談における知的障害のある子どもの事例における保護者との連携
7	教育相談におけるＬＤのある子どもの事例における保護者との連携
8	教育相談における自閉症のある子どもの事例における保護者との連携
9	生徒指導における知的障害のある子どもの事例における保護者との連携
10	生徒指導における自閉症のある子どもの事例における保護者との連携
11	教育相談における知的障害のある子どもの事例における専門機関との連携
12	教育相談におけるＬＤのある子どもの事例における専門機関との連携
13	教育相談における自閉症のある子どもの事例における専門機関との連携
14	生徒指導における知的障害のある子どもの事例における専門機関との連携
15	生徒指導における自閉症のある子どもの事例における専門機関との連携

アクティブラーニング			その他の工夫
A:知識の定着・確認	○	事例研究，グループ・ペアでの共同作業，ディスカッション，ロールプレイ	
B:意見の表現・交換	○		
C:応用志向			
D:知識の活用・創造	○		

授業時間外学修の内容と想定時間		
	準備学修	資料検索、インターネット等を用いた教育課題の把握（15h）
	事後学修	文献、インターネット検索等による事例研究（30h）
	想定時間合計	45

教科書	必要な資料等は大学より配付する。
参考書	必要な資料等は大学より配付する。

成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	事例研究への積極的な参加度	40%	○	○								
	指導・支援の方策の妥当性や具体性	20%	○	○								
	最終レポート	40%	○	○								

注意事項	
備考	
リンク	URL
担当教員の実務経験の有無	○
教員の実務経験	佐藤晋治(臨床心理士，学校心理士)/高橋徹弥(特別支援学校，教育委員会事務局)
実務経験をいかした教育内容	学校現場や学校臨床，発達臨床の実務経験に基づいて，障害のある児童生徒とその子どもを取り巻く環境との関係等を踏まえた具体的なアセスメントと連携に関する指導を行う。